令和元年度　事 業 報 告

社会福祉法人　勝心会
施設長　西川　和代

令和元年度は、12 月 27 日より特養においてインフルエンザ A が発症し施設内集団感染となり入居者 10 名、ショート利用者１名　職員７名が感染し、内入居者３名が入院することになった。その間、特養入居者への面会制限やボランティア活動の受け入れを中止、感染者の隔離、施設内消毒などを実施した。赤穂保健所へも都度報告を行い令和 2 年 1 月 14 日に終息を迎えた。

地域における公益的な取り組みにおいては、令和元年 10 月 28 日大枝公民館のいきいき百歳体操の場で「認知症サポーター養成講座」を講義と寸劇を実施し 20 名の参加があった。令和元年 11 月 11 日介護啓発イベントの開催では「認知症予防」「うつ病」「看取り」をテーマに実施し地域の介護者 6 名が参加された。令和 2 年 3 月に予定していたいきいきサロン遊友への出前講座は新型コロナウイルスの流行ため中止した。その他、買い物支援は滞りなく実施したが、認知症カフェにおいてはインフルエンザの流行で 1 月は中止、また、3 月から新型コロナウイルスの緊急事態宣言を受け中止とした。

令和元年 6 月 17 日から名古屋での 1 ヶ月の研修を終え､7 月 18 日ミャンマーより外国人実習生 2 名を受け入れた。実習指導のためのマニュアルを作成し実習指導員の下、日々介護実習に取り組んでいる。令和 2 年 3 月 13 日の介護技能実習評価試験にも無事に合格した。また、定期的な寮（アパート）への訪問や地域との交流など生活面においての指導も実施した。

介護ソフト（ほのぼのシリーズ）の活用で、特養のケース記録やモニタリング記録のデジタル化ができ業務の改善が図れた。

災害対策の強化では、令和元年 8 月 27 日、上郡町地域防災会より防災士を招き防災出前講座を開催した。グループホーム清音においては、8 月 28 日水害を想定した避難訓練を実施した。また、特養及びグループホーム清音においても 3 日分の食糧、水などの備蓄品を補充し必要数確保ができた。